

# ふくしま青年海外協力隊の会

## NEWS 2016 - 2017

今年度、当会が主催/協力/参加した数々の事業、イベントをOVのエッセイから振り返ります。



### 01 会長挨拶

平成28年度、29年度の2年間、会長を務めることになりました上野健一です。帰国後すぐの頃に事務局長を、前回会津で役員を担当した時に会計を務めました。わかっていないことも多く、みなさんのお力添えなくしては務まりません。よろしくお願ひいたします。

私が帰国して二十数年が経ち、OV会の役割も少しずつ変わってきました。平成の一桁の頃は海外研修員の日本語講座にも関わったり、まだ土曜日に学校があった時期には、その研修員と一緒に地球体験キャラバンに出向き、県国際課には毎年多くの要請がありました。二本松訓練所ができてからは、施設をお借りして地球体験スペシャルやユースボランティアミーティングなども行っていました。

現在は、諸事情から規模が小さくなったり、主催から共催あるいは協力という形でスタイルは変わりつつも、私たちができることを継続しています。小さな活動ではありますが、継続することが大事であると信じ、一步一步 私たちの足跡を残していきたいと考えています。

2011年の大震災以降、どうしても内向き思考になる部分がありますが、私たちの経験は内でも外でも通じる所があり、それは日常生活の様々な場面で生きてきます。特別なことをせずとも日々の生活における私たちの行動がそれぞれの社会で生きてくると思います。会員のみなさんの中には、家庭や職場の事情や状況で、なかなかOV会の活動に足を運びにくい方もいらっしゃるかと思います。無理のない範囲でいいので、参加できそうな時には足を運んでいただけたらなと思います。

では今年度も、役員や各事業担当者の方をはじめ各会員みなさんのご協力を よろしくお願ひいたします。

上野 健一 (H3-1 ガーナ 数学教師)

## Contents

- 01 会長挨拶
- 02 結・ゆいフェスタ 2016
- 03 会津若松市国際交流フェスティバル
- 04 JICA エッセイコンテスト
- 05 Visit ふくしま 2016
- 06 JOCA 東北ブロック会議
- 07 地球体験キャラバン
- 08 わくわくワールドフェスタ

発行：ふくしま  
青年海外協力隊の会

発行日：2017/4/29

編集：金山忍  
(H21-4 タイ 陶磁器)

HP：<http://foca.jocv.net>

FOCA の最新情報掲載中！

是非ご覧ください。

## 02

結・ゆいフェスタ 2016・9/17  
福島市 AOZ(アオウゼ)MAX ふくしま

福島市で恒例の“結・ゆい・フェスタ 2016”（福島市国際交流協会が主催）が開催され、毎度の事ながら、ふくしま青年海外協力隊の会も楽しく参加しました。（2016.9.17）会場では、ベリーダンスなど歌って踊ってのステージ発表や、飲んで食べてのお料理ブースとお買い物ブース、そして活動紹介の正統派ブースが混在しており大盛況で、さながら任地のバザール市場のようでした。

JOCV ブースでは、出店のおっちゃん（藤東さん）が「缶バッチ作り」（高橋司さんから器具借用）を取り仕切り、二本松訓練所チーム（室井、湯浅ペア）が JOCV の説明をし、幕田、渡邊ペアが自分の訓練のように「脳トレ」コーナーを担当しました。また、サウジアラビアの王様のような服を着た怪しい中東のおじさんが（松村さん）ウロウロして展示説明や「マンカラ遊び」をしてました。なので、珍しいから、人が来ない訳がなく、子どもから大人まで、押すな押すなの大盛況になりました。でも、写真がないのが残念でした、おしまい。

渡邊一代（S61-3 モルディヴ 助産婦）

## 03

会津若松市国際交流フェスティバル  
～世界はここにある～ 2016・10/1

2年に一度開催されるこのフェスティバルで我がOV会ブースはOV 5名の参加があり華やかで賑やかでした。

帰国したての年野インドネシアOV展示物のシルク織物に魅せられる人の多さ、それはそれは美しい織物でした。上野ガーナOV会長展示物の民芸品への興味と実際に被っていた自然素材帽子の日焼け具合に驚く人。鈴木マレーシアOVのマレー語クイズに沈黙する人、まぐれ正解の人・・・当たってもハズレてもキャンディをもらえました。中田ホンジュラスOV写真によるロスキイヤ、ナカタマル（タマーレス）、タマリート、トルティーヤの材料がどうもろこしと聞いて驚く人。日本も米で煎餅・ちまき・落雁・赤飯などこしらえますね。

OVの会なのでいつもながらに任国での活動写真展示や民芸品・民族衣装展示で固めました。興味・関心のある人たちは質問してきてくれました。活動写真を見て行ってくれました。「大変だったでしょう？」「楽しかったです。」毎回の会話です。機器から写真などを出力できなくなっていた大島ベトナムOVの任国の様子をいつの日か拝見できますように。

中田 ひろみ(S63-2 ホンジュラス 家政)

## 04

JICA エッセイコンテスト 2016  
10/2 いわき遠野高等学校和室棟

昨年度に続き、遠野高等学校をお借りして審査会を実施しました。今年度は54中学校から昨年度比567通増の1844作品の応募がありました。

作品の内容は、地球環境を守るために自分にできることをテーマとしたものが多く見受けられました。中には、自分の海外での経験や震災を通して感じたこと、スポーツを通して考えたことなどを、中学生らしい感性でのびのびとまとめられたレベルの高い作品もたくさんありました。

会場となった遠野高等学校の生徒も77名が応募し、学校賞をいただきましたが、ほとんどの作品が環境に関するものでした。これを機にこれからも多くの子どもたちが世界に目を向け、つながりを感じられるようきっかけづくりをしていけたらなあと思います。

OVの皆さん、審査会の日に都合がつくようでしたら、半日でも数時間でもかまいませんので是非ご協力ください。よろしくお願いいたします。

小杉誠

(S59-2 ネパール 体育)



審査員：協力隊 OV8 名  
遠野高校教員 1 名

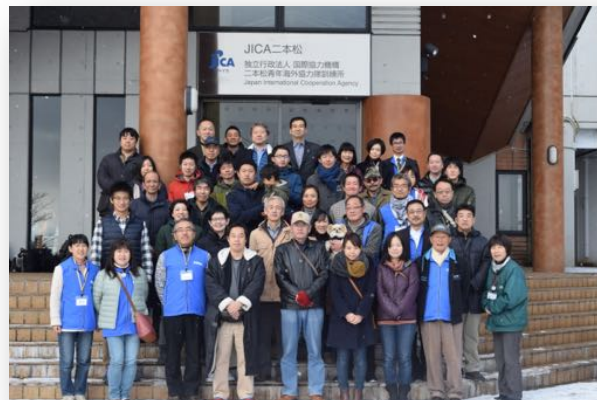
## 05

## Visit ふくしま 2016

12/10-11 JICA 二本松

震災後の福島県内の現状を全国の OV に知っていただきたいと 2012 年 3 月から実施してきたツアーも 6 回目となりました。2016 年 3 月に実施した「第 5 回ふくしま応援ツアー」で最終回とするつもりでしたが、多くの参加者から継続を望む声があり、私達も福島の復興のための歩みを止めずに、全国に発信していくことの大切さを痛感したことから、事業名称を「Visit ふくしま」に代え、まず、多くの方に福島に来ていただくこと、そして福島の経験を皆さんと共有し、未来につないでいくことを目標に、新しい取り組みを始めることにしました。

今回は、12 月 10 日～11 日に JICA 二本松で実施し、JOCA 東北ブロック会議および JOCA 東北ブロック研修会と同時開催とし、県外から 36 名、当会メンバー 18 名にご参加いただきました。



ツアー 1 日目は、JICA 地球環境部次長の三村悟氏による基調講演や、2016 年度 3 次隊訓練生も交えての分科会を行いました。最近の派遣前訓練では、帰国後の社会還元についての講座があり、その一環としての分科会でした。2 日目は、三春町の福島県環境創造センター（コミュニティ福島）を見学しました。

過去のツアーに参加してくださった方の働きかけにより、清山真琴 OV が沖縄に、川崎豊 OV と高橋司 OV が北海道に招かれ、震災の経験を話す機会をいただきました。また、京都 OV 会では、福島県産品を使った料理が並ぶ新年会を実施していただきました。私達の蒔いた種が、各地で少しずつ芽を出しているのを感じます。

福島にまず来ていただくこと、そしてできたつながりを大切にすることによって、福島の応援団をこれからも増やしていけたらと思います。

実施に当たりご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

小熊 則子 (H2-3 サモア 音楽)

## 06

## JOCA 東北ブロック会議 2016・12/10-11 JICA 二本松

平成 28 年 12 月 10 日(土)～11 日(日)、JICA 二本松において JOCA 東北ブロック会議が行われました。

10 日には各県 OV 会の活動報告や同時に開催されていた。Visit ふくしまの分科会に出席し、大震災後の現状と課題や福島の経験を未来へ伝えるなどのテーマで意見交換をしたり、震災経験者の声に耳を傾けたりしました。11 日には三春町にある福島県環境創造センター交流棟コミュニティ福島を見学し郡山駅で解散しました。

10 日の会議では、熊本地震で被災された方への支援金を 6 県 OV 会の連名で送ることを決めました。また各県の活動報告では、映画クロスロードの上映会や、派遣されている隊員への贈り物をしている県が 2 県ずつありました。大学祭で国際協力関係のイベントをしている会もあり、私たちの活動に参考になるところは取り入れていきたいと思いました。

なお今年度はブロック会議が青森県で、地球生活体験セミナーが宮城県で行われる予定です。時期が近づきましたら広報しますので興味がある方は参加してください。

上野健一 (H3-1 ガーナ 数学教師)

## 07

## 地球体験キャラバン 2016 ～みんなで世界を感じてみよう～ 2/12 福島市 福島テルサ 2/19 伊達市 桑折町イコーゼ！

地球体験キャラバンは外国で生活したことのある協力隊 OV や外国の方を講師として招き、ゲームやクイズを通して県民の方々に異文化体験学習、海外をもっと身近に感じてもらう内容となっています。



2月12日は「平成28年度中学生海外派遣事業」に参加した中学生約20名を対象に実施した。中学生は昨年オーストラリアにホームステイした経験があるだけに海外の話に大変興味を持っていた。当日のNHKの取材にも堂々と受け答えをし、キャラバンが終わった後も質問してくる子供たちの姿がとても印象的だった。

2月19日は桑折町「イコーゼ！」で小学生10名にキャラバンを実施した。参加者の年齢も10歳から12歳と小さかったため、クイズやコミュニケーションゲームの時間を多めに確保しキャラバンを展開した。

ゲームを通して参加者との距離が縮まり、異文化の話にのめりこむ様子がうかがえた。また講師も民族服や海外の小物を見せることで子供たちの興味を一層引き立てていた。

室井 研一 (24-2 ヨルダン 体育)

## 08

## わくわくワールドフェスタ in 相馬 2017・2/26 相馬市総合福祉センター

相馬で唯一の国際イベント「わくわくワールドフェスタ in 相馬」が2017年2月26日(日)、2012年のふくしま応援ツアーで相馬市長の話聞いた会場でもある、相馬市総合福祉センター(はまなす館)で開催されました。当日は、10以上の国の屋台ブースが並び、その他20近くの団体の出し物や展示(パンダのはく製も)などの他、子どもたちのチアリーダーダンス、ストリートダンス、フラメンコ舞踏、仙台おり姫隊などなど数々のステージ発表もあり、大盛りあがりの日でした。



FOCAのブースでは、缶バッジ作成、民族衣装の展示・試着、協力隊の広報、映画「クロスロード」の広報などをさせていただきました。

民族衣装に興味深々にみて、着て、何枚も写真をとっていたおばあちゃん、自分の興味ある国の国旗を探しながら、缶バッジをつくった小学生、OVそれぞれの体験談や近況の話聞き入っていた方々、ブースの内容は、特別なものでなく、準備も十分でなかったかもしれませんが、OV一人一人の魅力に、来場者が心をほぐし、興味を持ってもらえたのかなと感じました。また、会場には中・高校生のボランティアも50名ほどいたので、協力隊の広報をそれぞれ手渡すことができましたほか、私たちOVの存在を知ってもらうことができました。たくさんのOVが負担なく、子連れ・ご夫婦で気軽に集う場もどんどん設けていければと思います。

高橋 司 (H17-2 メキシコ 青少年活動)